

Jミルクが2021年5月28日に公表した「需給見通し(※2021年4月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。
 「牛乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

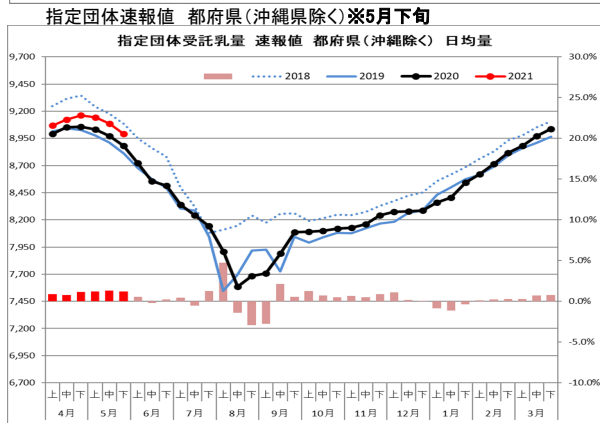
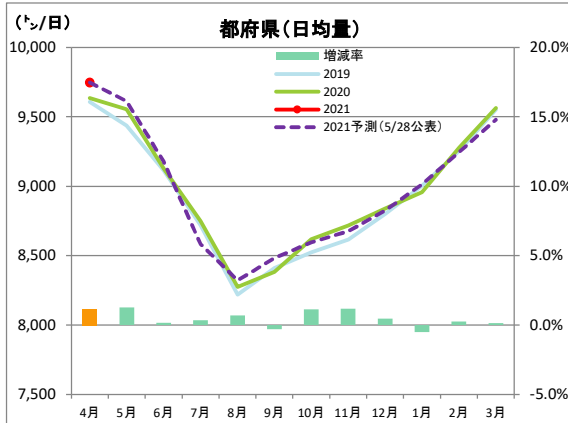
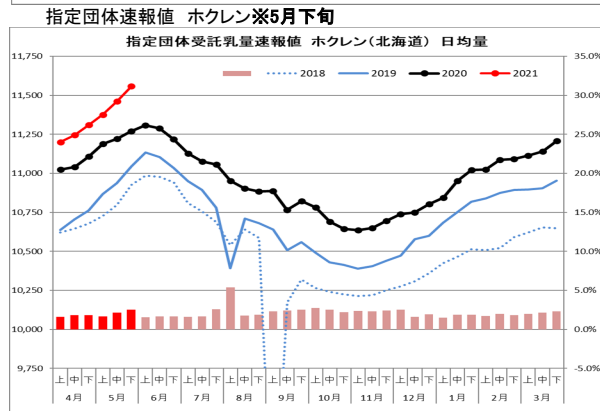
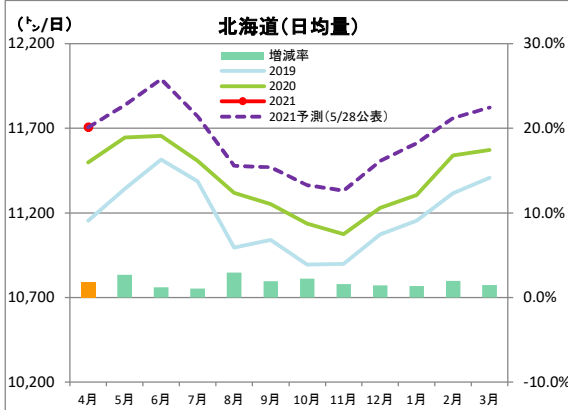
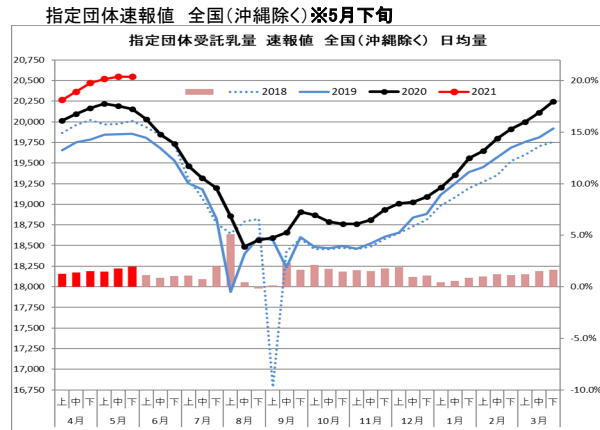
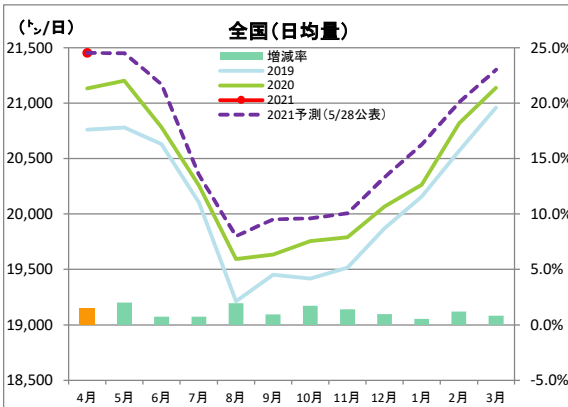
《家庭内消費のさらなる拡大が重要～需要動向は引き続き不透明～》

- ・4月の需給実績について、生乳生産は北海道・都府県ともに前年を上回って堅調に推移した。また、飲用需要については、前年の学乳供給停止による反動等もあり、全体では前年を大きく上回った。なお、脱脂粉乳・バターの出回り量は前年を上回ったものの、在庫量は引き続き高い水準で推移している。
- ・5月の牛乳販売動向については、インテージSRI+5月実績(前年比89.7%)を勘案すると、Jミルク予測(前年比91.2%)から大きくズレることなく推移している可能性が高い。
- ・直近(5/31週)の牛乳類の消費については、前週(5/24週)の販売個数からは若干増加した。また、ヨーグルト、家庭用バターの販売個数については前週から大きな変動はなく推移している。
- ・なお、10都道府県において発令されている「緊急事態宣言」が6/20まで延長されていることから、業務用需要については引き続き低調に推移しているものと推察される。また、今後は関東以北でも梅雨入りのタイミングとなることから、引き続き消費動向を注視しつつ、家庭内消費を中心に業界全体で需要拡大に取り組んでゆく必要がある。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

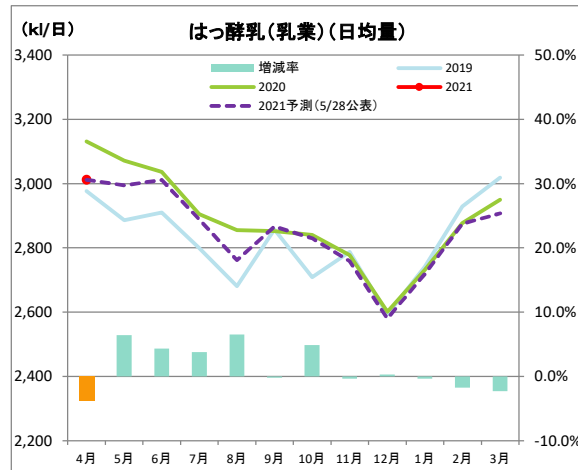
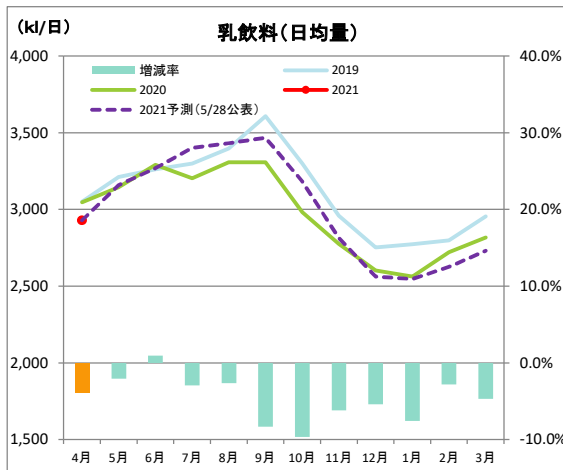
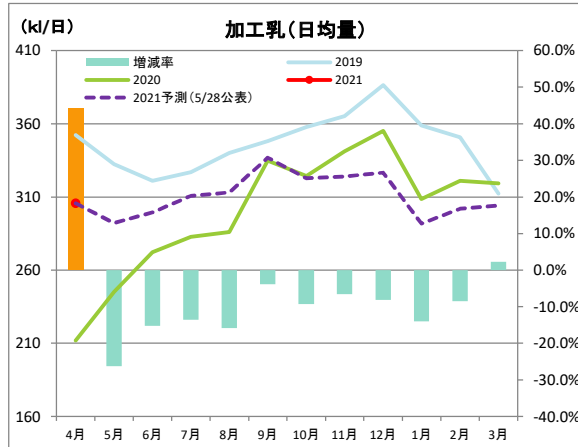
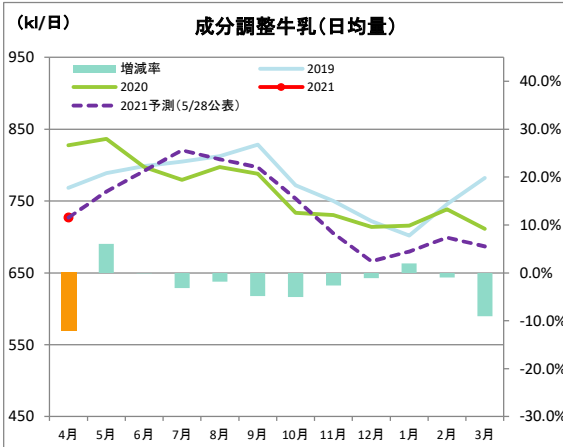
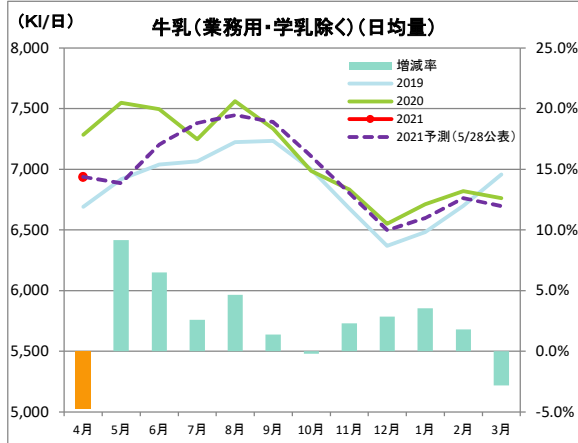
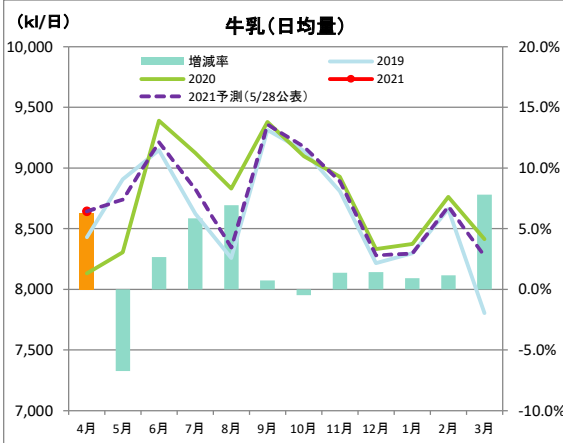
(1)4月の生乳生産量は、全国644千トン(前年同月比101.5%)、北海道351千トン(同101.8%)、都府県292千トン(同101.2%)。

(2)直近の指定団体速報値によると、全国が同102.0%(5月下旬)、北海道が同102.5%(5月下旬)、都府県(沖縄除く)が同101.2%(5月下旬)。



【牛乳等生産量】 ※増減率は、日均量で算出。

- (1) 4月の牛乳等生産量は、牛乳259千kl(前年同月比106.3%)、成分調整牛乳22千kl(同87.8%)、加工乳9千kl(同144.3%)、乳飲料9千kl(同194.7%)となり、牛乳類合計では378千kl(同102.8%)となった。
- (2) 「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同95.2%と前年を下回ったが、「業務用」は同117.1%とコロナの影響を受けた前年を大きく上回った。
- (3) はっ酵乳(乳業)は90千kl(同96.2%)と前年を下回って推移している。
また、非乳業実績(3月)についても、同95.5%と前年を下回って推移している。

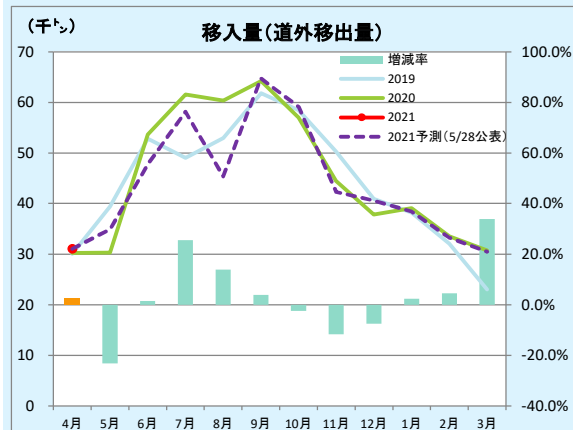
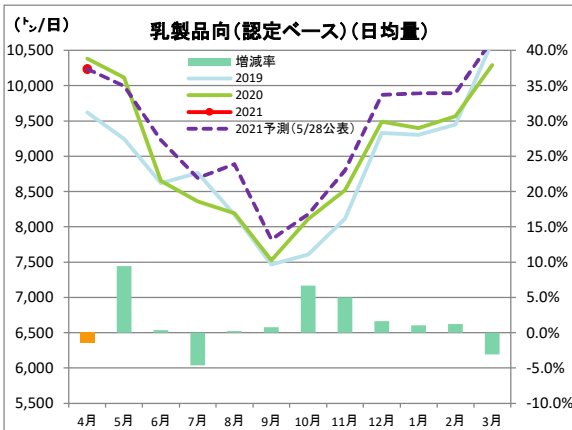
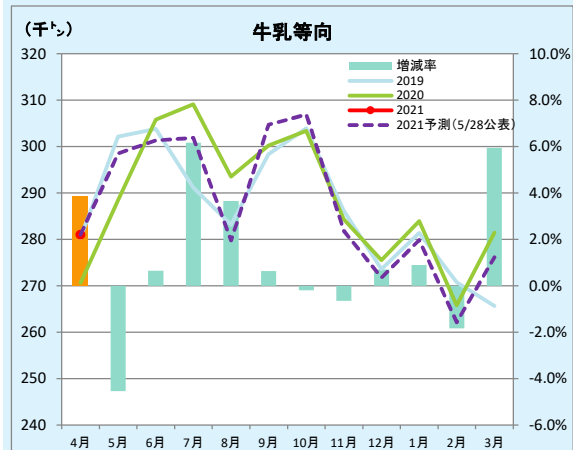
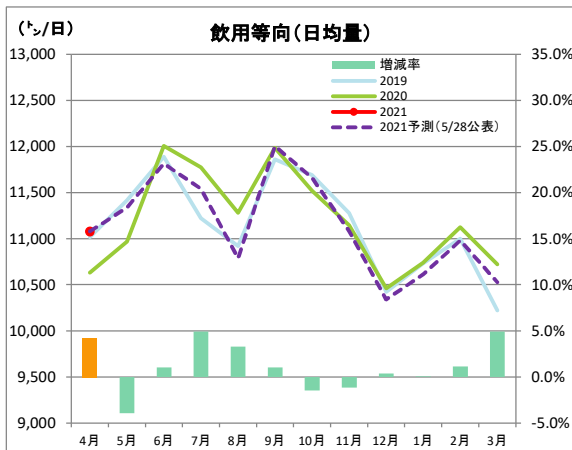
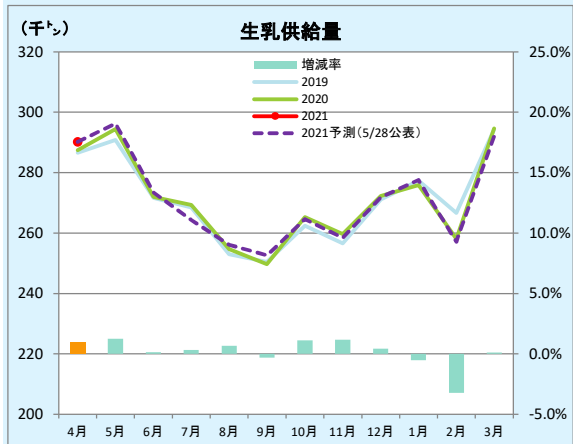
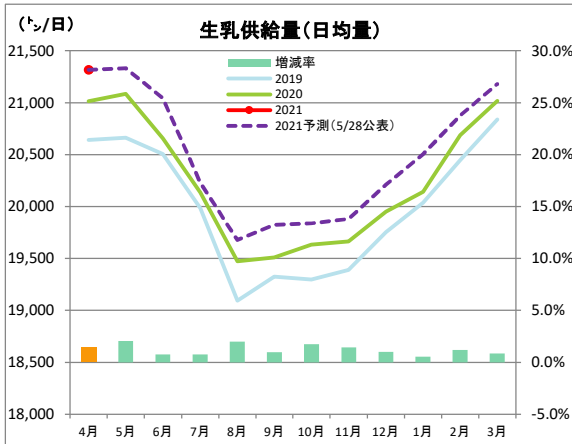


【用途別処理量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)4月の生乳供給量は640千トン(前年同月比101.4%)、飲用等向332千トン(同104.2%)、乳製品向(認定ベース)307千トン(同98.6%)。
 (2)飲用等向については、学乳停止等で減少した前年度から大きく増加し、乳製品向については、前年度を若干下回った。

【都府県の生乳需給】

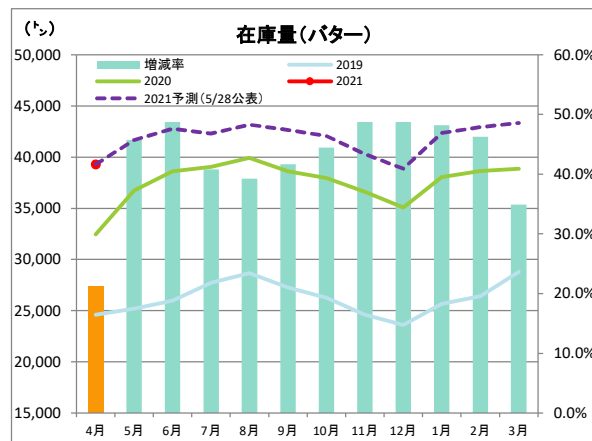
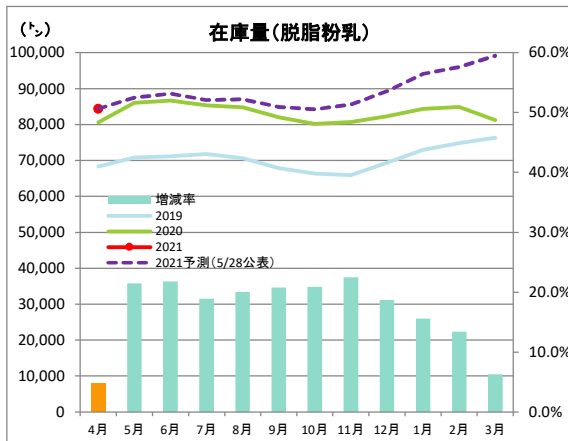
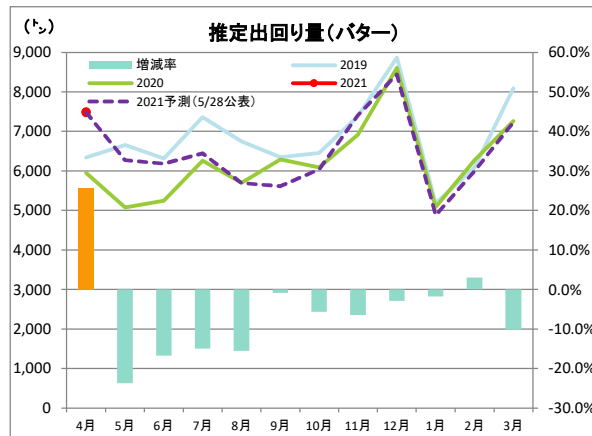
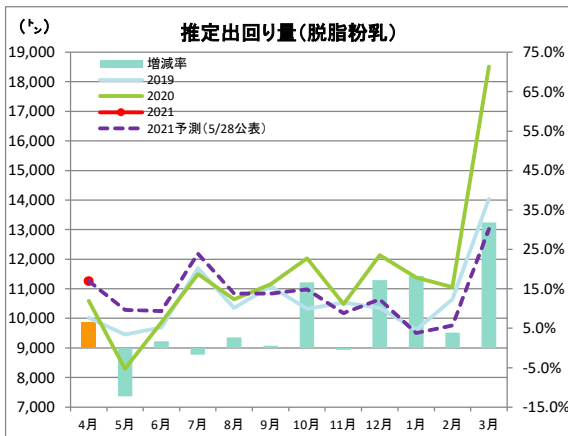
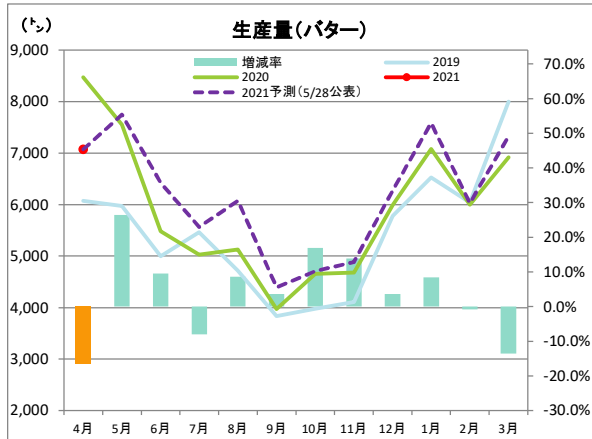
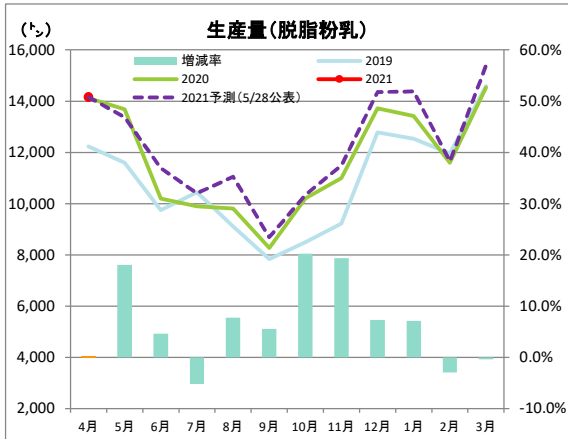
(1)4月は、生乳供給量290千トン(前年同月比101.0%)、牛乳等向281千トン(同103.9%)。
 (2)北海道からの移入量について、31千トン(同102.6%)と前年を上回った。



【脱脂粉乳・バター之需給】

(1) 脱脂粉乳は、4月の生産量は14.2千ト(前年同月比100.3%)、推定出回り量は11.3千ト(同106.4%)、その結果、在庫量は84.4千ト(同104.7%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を上回って推移している。

(2) バターは、4月の生産量は7.1千ト(同83.5%)、推定出回り量は7.5千ト(同125.6%)、その結果、在庫量は39.3千ト(同121.1%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を上回って推移している。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)5月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比89.7%、成分調整牛乳:同87.7%、加工乳:同86.8%、乳飲料:同84.7%。
牛乳類では同88.7%

【参考】2019年度比…牛乳:105.9%、成分調整牛乳:92.4%、加工乳:87.0%、乳飲料:91.9%(牛乳類トータル:102.1%)

・販売単価は、牛乳:189.2円、成分調整牛乳:173.0円、加工乳:188.7円、乳飲料:150.8円。

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(5/31週)の販売個数は、牛乳:前年同期比91.8%、成分調整牛乳:同91.0%、加工乳:同89.0%、乳飲料:同87.7%。
牛乳類トータルでは同91.1%

【参考】2019年度比…牛乳:104.6%、成分調整牛乳:92.4%、加工乳:86.4%、乳飲料:90.8%(牛乳類トータル:101.0%)

・販売単価は、牛乳:189.2円、成分調整牛乳:172.6円、加工乳:188.2円、乳飲料:150.3円。

※出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

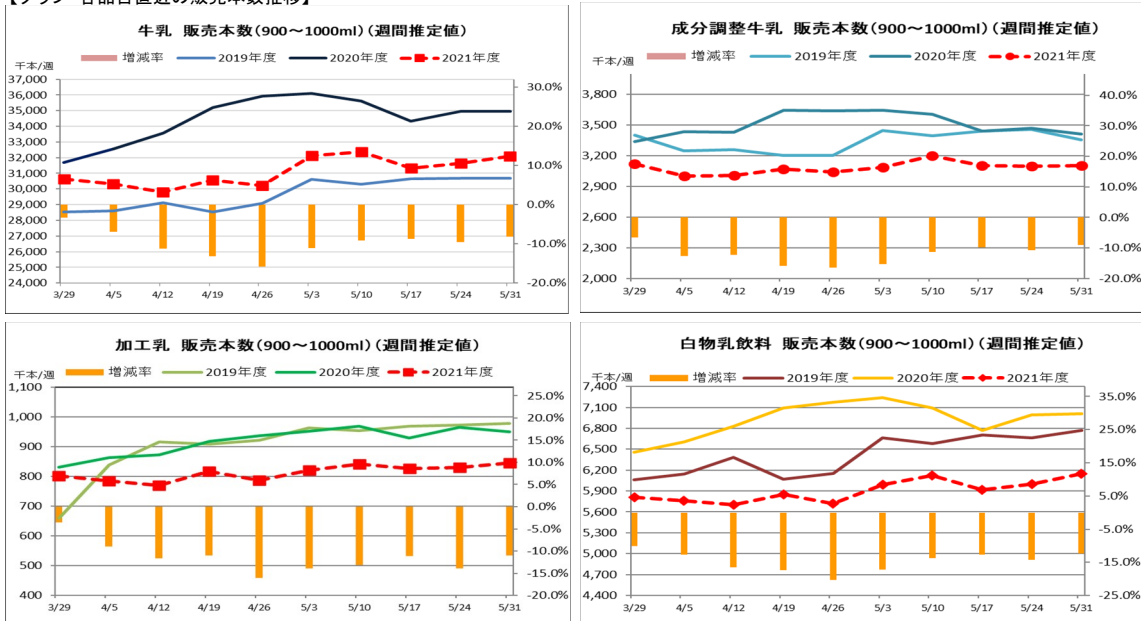
単位:千個、円

品目	区分	2021/1-	2021/2-	2021/2- 同年修正	2021/3-	2021/4-	2021/5-
		販売個数	171,074	157,626		172,484	170,770
トータル	販売個数前年比	104.7	98.8	102.4	96.1	89.1	88.7
	販売単価	182.4	182.0		182.2	182.6	182.5
牛乳	販売個数	129,682	119,005		130,908	129,581	141,090
	販売個数前年比	106.5	100.3	103.8	97.4	90.0	89.7
成分調整牛乳	販売個数	12,875	12,064		13,166	13,022	13,826
	販売個数前年比	102.0	96.0	99.5	93.7	87.1	87.7
加工乳	販売個数	3,275	3,045		3,393	3,387	3,668
	販売個数前年比	95.8	93.0	96.4	94.9	90.1	86.8
乳飲料	販売個数	25,241	23,512		25,018	24,780	26,543
	販売個数前年比	98.8	94.3	97.7	90.8	85.2	84.7
	販売単価	150.6	150.3		150.5	151.0	150.8

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	4.5-	4.12-	4.19-	4.26-	5.3-	5.10-	5.17-	5.24-	5.31-
		販売個数	39,853	39,280	40,303	39,779	42,029	42,520	41,159	41,551
トータル	販売個数前年比	91.7	87.9	86.0	83.4	87.6	89.9	90.5	89.6	91.1
	販売単価	182.5	182.6	182.6	182.8	182.3	182.3	182.8	182.4	182.3
牛乳	販売個数	30,307	29,798	30,565	30,232	32,132	32,359	31,312	31,624	32,082
	販売個数前年比	93.1	88.7	86.8	84.1	89.0	90.8	91.2	90.5	91.8
成分調整牛乳	販売個数	3,001	3,008	3,068	3,044	3,088	3,198	3,105	3,101	3,104
	販売個数前年比	87.4	87.7	84.1	83.6	84.8	88.8	90.3	89.4	91.0
加工乳	販売個数	785	770	816	787	820	841	826	830	844
	販売個数前年比	91.1	88.3	89.0	84.0	86.2	86.8	89.0	86.1	89.0
乳飲料	販売個数	5,760	5,704	5,853	5,716	5,988	6,122	5,916	5,996	6,148
	販売個数前年比	87.2	83.6	82.5	79.7	82.7	86.3	87.3	85.8	87.7
	販売単価	150.8	150.8	150.9	151.2	150.8	150.9	151.0	150.5	150.3

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の週次動向(表④参照)

直近(5/31週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)各品目とも前週(5/24週)より販売個数が若干減少した。

品目	4.5-	4.12-	4.19-	4.26-	5.3-	5.10-	5.17-	5.24-	5.31-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↓	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↘	↘	↓	↘	↘	↘	↘	↘

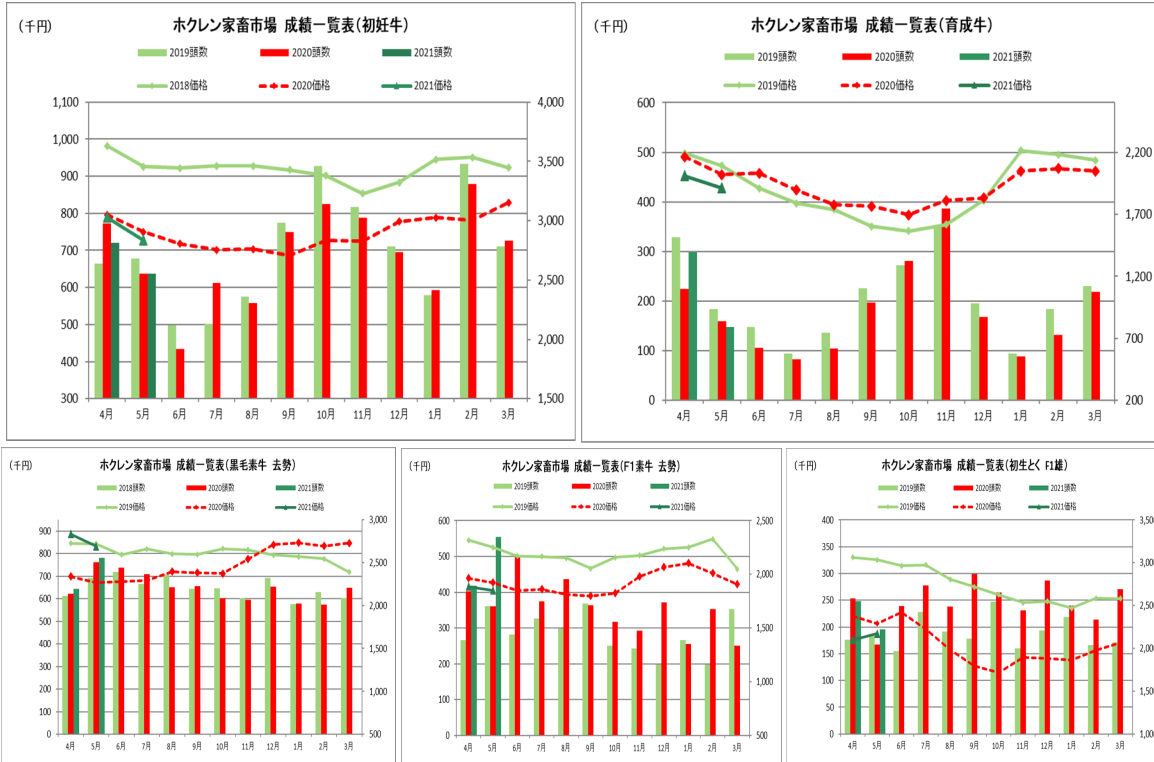
	:前年比90%未満		:前年比105%以上110%未満
	:前年比90%以上100%未満		:前年比110%以上120%未満
	:前年比100%以上105%未満		:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家畜販売価格動向】

(1)5月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は728千円(前年同期比97.1%)、育成牛価格は428千円(同94.1%)、和牛素牛(去勢)価格は832千円(124.0%)、F1素牛(去勢)価格は405千円(同94.8%)、F1初生(雄)価格は188千円(90.8%)。
 (2)上場頭数(出回り頭数)、初妊牛:同99.9%、育成牛:同94.7%。また、和牛素牛(去勢):同102.0%は前年をやや上回り、F1素牛(去勢):同137.9%、F1初生(雄):同108.5%と前年を大きく上回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値 (<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)



【飼料価格動向】

(1)配合飼料・とうもろこしの価格については、2020年後半から上昇傾向で推移している。
 (2)輸入粗飼料(乾牧草・ヘイキューブ)の価格は下落傾向で推移してきたが、直近(3月)は上昇している。

※農林水産省「農作物価統計」、財務省「貿易統計」

